

サポハメ ジメツ

—寝取りの章—

↑ SUP
+ SUP
↓

Sapohame Janne

—Chapter 2 : cuck—

Nanatsu no Kagiana presents
Satoshi Nanakagi
Fate GO Fanbook





まえがき

皆様こんにちは、七鍵智志です。

今回は夏コミにて頒布したサポハメジャンヌの続き物です。
一回目は催眠調教モノでしたが二回目はさらに一步踏み込んだ
寝取りモノとなっております。

お手にとって頂いた方はご承知のもとだとは思いますが
万が一知らずに取ってしまった方で寝取りモノが苦手な方は
お気をつけ下さい。

それではお楽しみ下さいませm(_ _)m



ふみまふん…
まふたー…

ちゅぽっ

はあ

はあ

くっくっ
一体どうしたんだい
ジャンヌ…こんな…っ

でもが何も言わず…
ごうか…ごうか私を
抱いて…下さい…っ



私は…あの男に…
あの男の命を…

ああ…マスター
ごめんなさい…っ



とまご

う…っ
…わかった



け…
令呪なんかなくなつて
本当はあなた…

ジャ…ジャンヌ…
いくよー

はい…♥

あずっ♥
ちゅちゅ…
マスター…♥

ジャンヌーッ

あー♡

あー♡

は……あ……
全部……挿入ったよ
ジャンヌ……っ

おたん……

……えっ

遂にマスターの
おちんほが
挿入っこ……

あー♡

あ……あれ……っ
せん……ぶ……っ
ここまで……全部……っ

はあっ
凄……っ

凄……っ
ジャンヌ

「ジャンヌのおまんこ……
気持ち良すぎる……っ」

はあ……っ

ジャンヌッ
動くよ
ジャンヌーッ

ああ……
ダメだ……っ

も……もっ……
もう射精しちゃい
そっだっ

い……い……っ
大きおなれて
問題じゃー



そんな
まだ挿れたばかり…

1…1は2
ジャンヌ…

く…ん…ん…
で…出る…



あ…
ああああつ



ジャンヌ…凄く…
気持ち良かったよ

え…あ…
一回だけ…？
で…いいのですか？

い…い…い…
私も…その…
幸せな時間…でした

うん
凄く満たされたよ
ありがとうジャンヌ

マスターは…
そう…マスターはきつこ
まだこういふことに
慣れてなかったのよ…



どうした？
俺は念願を叶えた
感想を聞いてるんだが？

本当は…
最低な男

なんだよえらく
ご機嫌斜めだな

まさかとは思うが…
満足させて
貰えなかったのか？

そ…それは

くっく
マジかよ



今回の催眠は
「俺の前では思ったこと」を
全て正直に話せ」だ

た…確かに……
確かにマスターの
おちんぼでイクことは…
…ありませんでした……

自分のサバも
満足させられない
駄ちんぼだったのか？

マスターのおちんほは…
あなたのおぞましいモノ
とは違い癒まして…
射精も…早く…

くくく
短小早漏かよ
そいつは可愛そつに

こ…こあがマスターには
稚拙ながらも私を一生懸命
気持ちよくさせようとする
愛情がありました

あなたこの行為にはない
「心」が満たされたのです

くくく
そりゃあよかった
俺に感謝しないとなあ

…とはいえ

身体は満足しなかった…
…それも事実だろう？

…否定は
…しません

はっはっは
お前の性癖は
歪んでるからなあ

否定出来る
のか…？

—ッッ
そんな…
ここ…は…

…ッ

心配すんな
俺はそんなド変態な
お前が好きだぜ？

くっ——
そんなことを言われて
嬉しいわけが…

照れるなよ
マンコは正直に
キュウキュウ締め
付けてくれるぜ？



それから数時間
今日も私はこの男に
何度も深くイカされた



ここから…この男の元を
訪れる度にマスターとの
SEXも強奪されるようになって

だから嫌でも
感じてしまう

陰茎の大きさ…
テクニック…
精力の高さ…

マスターと…
この男との…差を…

これを取つても
マスターが敵う所は
なかった

悔しいがこの男は
女を…私を悦ばせることが
本当に上手かった

関原を…
断ち切らねば…

けれどマスターは
この男のサーヴァント
気に入つていて
そんなこと
言えるわけがない…

このままでは…

一度イカされる度に身体は
この男を認めていってしまっ

マスターも…
マスターも私にして欲しいこ
れをささしく奪えれば…
きつと…



ダメだよジャンヌ

ツツ

綺麗なジャンヌの身体を
酷く扱うなんて……
そんなこと絶対に
出来るわけがない

で……でも……っ

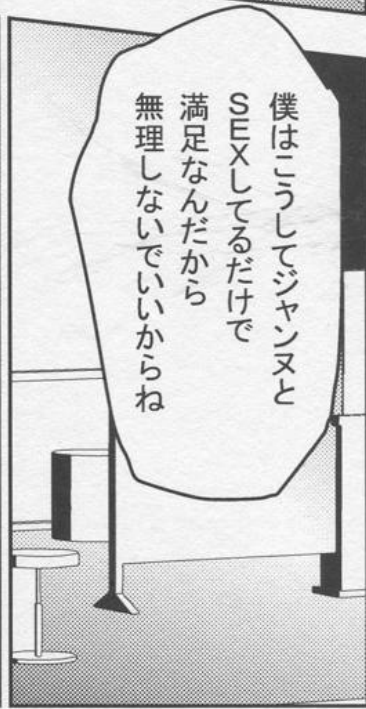
……い……い……
ありがとう……
……ごさいます



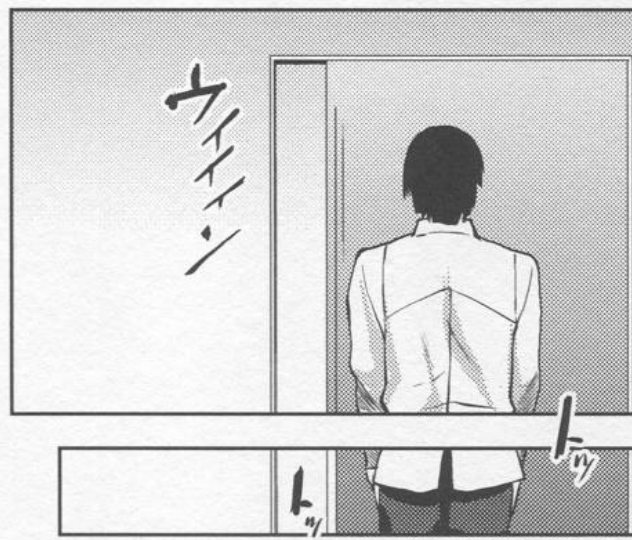
……はい

しゅん

しゅん



僕はこうしてジャンヌと
SEXしてるだけで
満足なんだから
無理しないでいいからね



グイグイ

しゅん

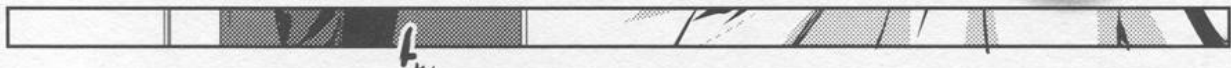


マスター……違うんです……
私は……私は……



しゅん

しゅん



しゅん

くははははっ
マジかよ

マスターは私を
本当に大事にして
くれているのであつ

ははっ
女の欲求を
汲んでやるのも
甲斐性だろうか？

して欲しいことを汲む
どころか否定されたってか

それは……ッ

くくくつ
わかるぜジャンヌ
中途半端は
一番辛いよなあ

俺ならいくらでも
鎮めてやれるん
だけどなあ

誰か——
あなた…等に…っ

くくつ
身体はそうは言っていない
みたいだけどなあ

くはははっ♡

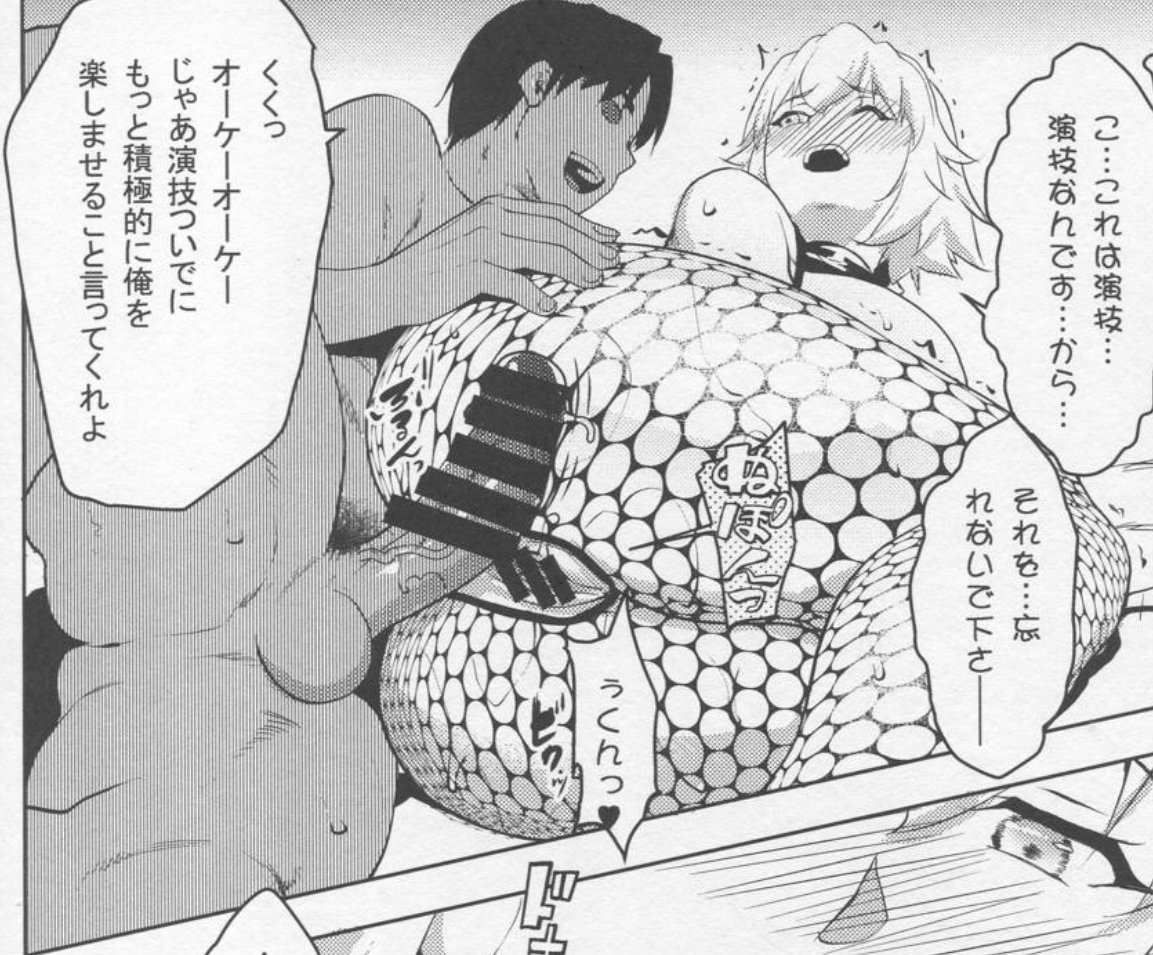
まじっ……まじっ……
これはマスターの為……

まじっ……
まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……



まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……

まじっ……まじっ……
まじっ……まじっ……



ご主人様……の
お……おちん……ほち……

私の身体で……
精一杯……ご奉仕させて
下さい……ませ♡

おおー
いいねいいねっ
俄然やる気
なってきた

ああ……毒い……
改めて見るこ……
なんてたくましい……
マスターの二回りは……

ふうぎ……その……
そのたくましいおちんほち
私のおまんこで扱かせて
下さい……ませ……♡♡

これを……っ
早くっしを……
挿れたい——♡

ニイ……

マスターが届かない所まで
深くぐぐつてくれる
このおちんぼが
欲しかったんでさうらうッ♡

ああ…これは演技っ
彼を喜ばせる為の
演技なんだからあ♡♡♡

あは…ッ♡♡

ひゅこ…♡
気持ち…いいいい♡♡♡

くくつ
ほんといい締めりだぜ

っキイイイッ♡

さすがはマスター以外の
ちんぽでヨがる淫乱聖女様だ

ああ…ッ♡
言わないで♡♡

そんな酷いこと
言わないで下さい♡

演技なんて嘘...

ほい

はあ
はあ
はあ

はあ

お

お

お

お

お

認めざるを得ない...

ゴッゴ

キタねえ女だぜ
まったく

ゴッゴ

ゴッゴ

ゴッゴ

ゴッゴ

やっぱり私はもう...
この世...

とっくに
墮とされて
いたんだ♡

おはあ
おはあ
おはあ

ゴッゴ

ゴッゴ

ゴッゴ

あはあはあ♡
うん—♡

うん—♡
うん—♡

うん—♡
うん—♡

くくく
ジャンヌ
お前どうして
欲しいんだ？

ああ—
うん—♡
うん—♡

お前のマンコが
求めるモノは何だっ

聖女なのに変態な
私を舐めて欲しいのぉっ♡

たくましいおちんぼ—♡
子宮までじっくり押し込んで
たく長い汚らわしいおちんぼ♡



そうだった
そうだろうジャンヌ

そんじゃあ

それら全てを与えてくれる
お前を本当に満足させられる
男は誰だあつ

ズンズン

めめめ——ツツ♥♥

あは♥
あ♥
あ♥
あ♥

あなた——っ
あなたであっうっ♥

ご主人様が本当の
私を愛してくれるのあ♥♥

あなたに抱かれている
間だけ私は本当の

ほん…ごうの…
ジャンヌ…タルクとして…
幸せになれるわであっうっ♥

ねる
ねる
ねる

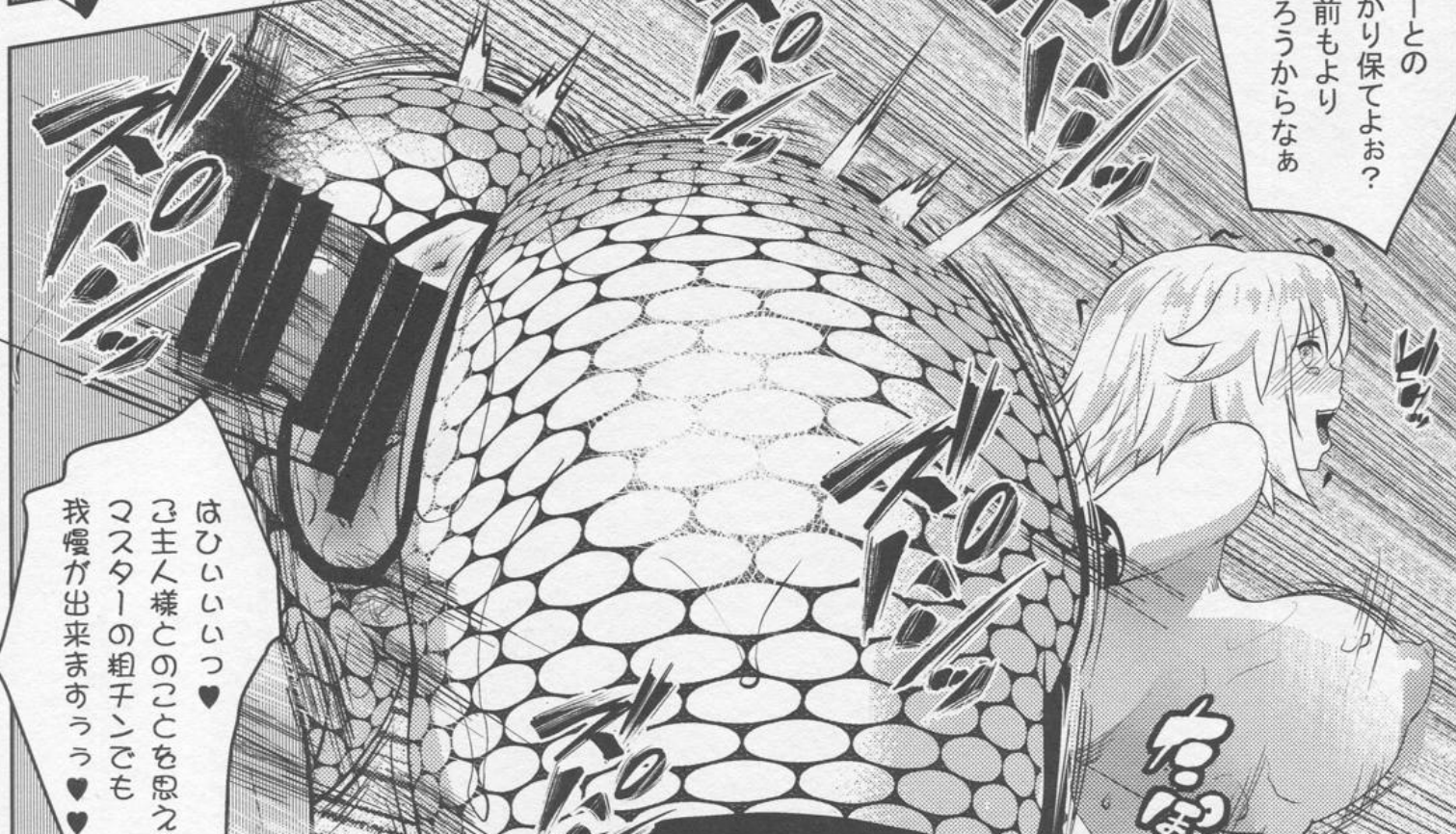
くはははははっ
そうだった

お前のご主人様は
俺なんだよっ

これからは
俺の命令には
絶対服従だっ



だがマスターとの
関係もしっかり保てよお？
その方がお前もより
楽しめるだろうからなあ



はひいひいっ♡
ご主人様このことを思え
マスターの粗千んごも
我慢が出来ますうう♡♡



ああ……
ああ……

「ひゅりん……
さまあ……」



そこからは
ご主人様の言い付け
通りに行動するようにな
った

あーッ
あ…あ…っ

だ…ダメだジャンヌっ
また
また出ちゃっつ

んあああああつ

ジャ…ジャンヌ…♡
回数をこなせばこなす程
上手くなっていくね

もう僕の精液は
からっぽだよ

ふふっ
喜んで頂けて
何よりです♡

これから例の彼の所に行くんだらう？

はい

Hな匂いとか…
その…
…大丈夫かな？

ふふっ
大丈夫ですよマスター

どれだけ男に抱かれていたとしても意外と他のオスはそのことに気付かないみたいですし…

いいえ…
なんでもありません

ま…まあ
彼には世話になってるから失礼のないようにね

フッフ
もちろんです♡

それでは
行ってきますね…
マスター

え？

…そっか？



あとがき

お疲れ様でした。
如何でしたでしょうか。お楽しみ頂けていたら嬉しいです。

以前にも話したことがあるかもしれませんが私は寝取りはいいんですが寝取られは結構苦手でして出来るだけ読んでいる方には寝取り男の視点でお送りできるようにしました。

もっともっと描きたいシーンやねちっこい表現もしたかったんですが今回はこんな感じに収まりましたね。
個人的にはマスターと寝取り男とで交互にSEXをし続け差を見せつけられていくところがお気に入りですかね。
オスとしての優位を自覚させられてい様は興奮するよね！

さて、このお話はここで終わりになりますが次回も催眠モノでやっていきたい感があります。
オリジナルか二次創作かはわかりませんが又ける作品になるよう頑張りますので次回も是非宜しくお願い致しますー！

では今回はこの辺で
ありがとうございましたm(_ _)m

奥付

発行 : 七つの鍵穴
発行者 : 七鍵智志
発行日 : 2018/12/31
印刷 : スズトウシャドウ印刷 様

Twitter : nanakagisatosi
youtube : 七鍵nanakagi

fantia・pixivFANNBOXにて支援受付をしております。
是非宜しくお願い致します。

※著作物を無断でアップロード・転売・転載することは違反です。
しかるべき措置を取る場合もございますのでお止め下さい。

Sappohame Jeanne

Comic Market 95

-Chapter 2 : cuck-

許可の転載、再発行、無断複製を一切禁止します。

No reproduction or republication without written permission.

Twitter : @nanakagisatosi / Youtube ch : <https://www.youtube.com/channel/UC3AdnqVzgbn5HkWEifYEGaw>